

## 生徒心得

- 吉根中学校生徒である自覚と誇りを持って行動しよう。
- 本校の校訓である「自主・自律・自学」のもと、状況に応じて、自ら考え判断し、責任ある行動をとることができるようにしよう。
- 吉根中の生徒全員が気持ちよく一日を過ごせるように、礼儀正しく、思いやりをもって行動しよう。

### < 学校生活のきまり >

- ① 8時25分までに教室に入らなければ遅刻となります。
- ② 遅刻・早退・欠席のときは、事前に保護者の方に学校に連絡をしてもらうこと。
- ③ 学習に必要な物、不必要なお金は持ってきません。
- ④ 下校時刻を守りましょう。

### 下校時刻表（完全下校時刻）

月	4月～9月	10月	11～1月	2・3月
時間	18:00	17:30	17:15	17:30

# 服 装 規 定

## 1 制服

(1) 令和5年度以前の制服(令和7年度入学生まで着用できる。)

	男子	女子
冬服	㊤㊦ 標準学生服上下に吉根中学校オリジナルボタン(袖ボタンは無し) ㊤ 白色カッターシャツ・白色ニットシャツを着用	㊤ 紺色ジャケット ※菅公学生服製 ㊤ 白色半袖・長袖セーラーブラウスカ、白色カッターシャツを着用 ※菅公学生服製 ㊦ 紺色スカート(車ひだ) ※菅公学生服製 ㊦ スラックス
合服	㊤ 白色カッターシャツ ㊦ 標準学生ズボン	㊤ 白色半袖・長袖セーラーブラウスカ白色カッターシャツ ㊦ 紺色スカート(車ひだ) スラックス
夏服	㊤ 白色ニットシャツ ※トンボメイト製 ㊦ 標準学生ズボン	㊤ 白色半袖セーラーブラウスカ白色ニットシャツ※トンボメイト製 ㊦ 紺色スカート(車ひだ) ㊦ スラックス

※ 令和8年度入学生より、ブレザータイプへ完全移行する。

※ カッターシャツ、ニットシャツの代わりに、オール白色の長袖・半袖のポロシャツを着用してもよい。その際は、次のページの(2)の着用のしかたに準ずることとする。

※ 制服の移行期間は設定しないため、気候に応じて、各自で考えて、夏服・合服・冬服を着用する。

(2) 令和6年度以降の制服(令和8年度入学生より完全移行とする。)

ブレザー	<ul style="list-style-type: none"><li>・式日や行事など、学校から指定された場合はブレザーを着用する。</li><li>・ブレザーの前合わせは、各自の自由とする。</li><li>・ブレザーのボタンは、上の一つ、もしくは二つとも留める。</li></ul>
長袖 ポロシャツ	<ul style="list-style-type: none"><li>・オール白のポロシャツを着用する。</li><li>・名札をつけるためのポケットありが好ましい。</li><li>・ブレザーを着用しない場合は、名札はポロシャツに付ける。</li><li>・ブレザー着用の場合は、ポロシャツの裾はボトムに入れる。</li><li>・シャツのインナーは、ベースカラーで無地のものとし、ハイネック等は不可とする。</li></ul>
半袖 ポロシャツ	<ul style="list-style-type: none"><li>・オール白のポロシャツを着用する。</li><li>・名札をつけるためのポケットありが好ましい。</li><li>・ポロシャツの裾は出してもよい。</li><li>・シャツのインナーは、ベースカラーで無地のものとし、ハイネック等は不可とする。</li></ul>
ボトム	<ul style="list-style-type: none"><li>・ボトムは、スラックス・スカートから選択する。</li><li>・スラックスの裾は引きずらない長さとし、裾はシングル・ダブルのどちらでもよい。</li><li>・スカートの丈は膝が隠れる長さとする。</li><li>・ベルトは、黒・紺とし、スラックスはベルトを着用する。スカートはベルトを着用してもよい。</li></ul>

※ 夏季期間について

- ・ 夏季期間は、熱中症対策のため、体操服・ジャージ・ハーフパンツでの登校・生活してもよいこととする。期間については連絡をする。
- ・ 式日や行事など、学校から指定された場合は、制服を着用する。

## 2 体操着

### ジャージ・体操服・ハーフパンツ

ジャージ・体操服・ハーフパンツは、紺色のジャージに藤色のライン、ジャージの上衣と体操服（白色 T シャツ）の左胸に吉根中学校の「K」をデザインしたマークが入る。マークの下には個人名の刺しゅうが、マークと同系色の色で入る。

## 3 その他

※ 服装について、色の指定のあるものについては、白・黒・紺・茶・グレー・ベージュを吉根中の服装等に関するベースカラー（基本色）として設定し、生徒はその場に応じたものを考えて、着用するようにすること。

くつ	<ul style="list-style-type: none"><li>靴の色は、ベースカラーを基調として無地（柄のないもの）の運動靴とする。メーカー名などのワンポイントやラインの色については問わない。</li><li>ひもやマジックテープなどで調整ができるタイプを着用する。</li><li>ハイカットや厚底は不可とする。</li><li>雨天時などに、レインシューズを履いてもよい。色はベースカラーとし、自分の下駄箱に入れる。</li></ul>
くつ下	<ul style="list-style-type: none"><li>靴下の色は、ベースカラーとし、<u>運動に適した</u>、膝下の長さのものを着用する。</li><li>ワンポイントやラインは可とし、無地で柄のないものとする。</li></ul>
上履き	<ul style="list-style-type: none"><li>学校指定のスリッパを着用する。</li></ul>
通学用かばん	<ul style="list-style-type: none"><li>両肩で背負うタイプのかばんとする。（リュックサック・デイバッグ）</li><li>色は、黒・紺・茶を基調とする。</li><li>荷物が多い場合は、サブバッグを使用してもよい。</li><li>取り違え防止のためにキーホルダーなどの目印をつける場合は、<b>1つまでとする。</b></li></ul>
体育の服装	<ul style="list-style-type: none"><li>学校指定の体操服、ハーフパンツ、ジャージ</li></ul>
体育館シューズ	<ul style="list-style-type: none"><li>学校指定のシューズを着用する。</li></ul>
※ 男女ともに夏服・カッターシャツ・ブラウスの中に着るシャツの色は、ベースカラーとする。	
※ アクセサリなどの装飾品はつけない。	
※ 化粧（アイプチ・カラーコンタクト・エクステ等も含む）はしない。	
※ ウェットティッシュや汗拭きシートは、無香料のものは使用してもよいが、ゴミは各自で持ち帰ること。スプレータイプは不可。	

## 4 防寒具

- ・ 防寒具は、気候に応じて各自で判断し着用してもよい。
  - ・ 自分のロッカーにしまうこと。
- ★ 防寒具の着脱場所について、建物に入る前に脱ぐことが一般的なマナーであるが、土間の混雑や落とし物の防止のため、教室で着脱を可とする。

マフラー・スヌード ネックウォーマー	・ 色柄の指定はなし。
手袋	・ 色柄の指定はなし。
コート類	・ 種類は、Pコート、ダッフルコートなどのコート類、またはウィンドブレーカー、ダウンジャケットなどとし、色は、ベースカラーを基調とする。 ・ 部活動でそろえて購入しているウィンドブレーカーの使用も可とする。
インナーとしての防寒具	・ 学生服、ジャケットの下に、ベスト・セーター等を着用してもよい。 ・ 色は、ベースカラーとし、柄のないものとする。 ・ ワンポイントやラインは可とする。 ・ ベスト、セーター等が一番上になる形での着用は不可とする。
タイツ・レギンス	・ 黒色のタイツ・レギンスを着用してもよい。 ・ 体育の授業の時は脱ぎ、靴下を着用すること。

※ 耳当ては、周りの音が聞こえなくなるなどの危険性があるため、使用しません。

# 頭 髪 規 定

頭髪については、以下の点に留意しながら、各自で判断すること。

- ・ 学業に支障が出ないこと。
- ・ 他人に迷惑をかけないこと。
- ・ 他人に威圧感を与えないこと。
- ・ オシャレを目的としないこと。

## <具体的な例>

- ・ 長い髪（肩につく程度）は、安全を考慮して、必要に応じてしばりましょう。（ 体育の授業、理科の実験、技術家庭科の実習 など ）
- ・ 左右非対称の髪型にしたり、編み込み（一般的な三つ編みは除く）をしたり、ラインを入れたりするのはやめましょう。
- ・ 整髪料は使用しません。
- ・ パーマはしません。（縮毛矯正は除きます。）
- ・ 変色・脱色はしません。
- ・ 髪飾りは使用しません。
- ・ ゴムバンド・ヘアピンを使用する場合は、ベースカラーのものを使用し、必要に応じてしばれるように常備しておきましょう。
- ・ 登校後に、時間をかけて髪型を直さないようにしましょう。

# 部 活 動 に つ い て

## 1 目的

- ・ 部活動を通し、たくましい身体と心を鍛え、中学生らしい礼儀正しい生活習慣を身に付ける。
- ・ 目標に向かって協力し合い、お互いに励ましあっていく姿勢を身に付ける。

## 2 令和7年度の部活動

運 動 部							文 化 部	
サ ッ カ ー	野 球	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	卓 球	バ レ ー ボ ー ル	硬 式 テ ニ ス	陸 上 競 技	美 術	読 書
男 女	男 女	男 女	男 女	女	男 女	男 女	男 女	男 女

※ 美術部は、令和7年度の募集はなし。

## 3 活動時間

- ・ 名古屋市立学校部活動、活動日・活動時間の基準に準じます。
- ・ 下校時刻（完全下校時刻）

月	4月～9月	10月	11～1月	2・3月
時間	18:00	17:30	17:15	17:30

- ・ 顧問の先生の指導のもとにおける、朝練習が設定されることがある。
- ・ 生徒は活動が終わり次第、完全下校時刻までに、速やかに下校する。

## 4 再登校

- ・ 顧問の先生が懇談会などで活動できないときは、再登校もある。再登校の場合は必ず下校し、学校には残らない。

## 5 テスト前の活動

- ・ 原則、定期テストの一週間前は活動をしない。
- ・ テスト週間中やテスト直後に試合が予定されている場合は、特別練習（1時間程度）を認める。特別練習をする際は、保護者の同意を得て行う。

## 6 服装・持ち物

- ・ 登下校時は、部活で指定した服装、持ち物または学校指定の学生服、ジャージ、体操服を着用する。

※ 部でまとまって購入していない派手な服装は、原則認めない。

- ・ 登校用のバッグを使用し、入りきらない場合は、サブバッグの使用を認める。
- ・ 部活動の荷物を教室に置いたままにしない。

## 7 登下校

- ・ 登下校時は、自転車を使用しない。
- ・ 登下校時の買い食いは、絶対にしない。
- ・ 登校後の外出は必ず顧問の先生の許可を得る。

## 8 その他

- ・ 部活動を欠席する場合は、必ず顧問の先生に連絡する。
- ・ 健康管理には、自分で十分注意して活動する。

## 9 部活動のルール

- ・ 一人一部のみ入部できる。部のかけ持ちは認めない。
- ・ 年度途中の入部、退部、転部については、保護者・担任・顧問とよく話し合った了解の上、認める。
- ・ 部活動顧問の指示を守って活動する。
- ・ 学校の規則を守って生活する。

## 図書館利用のきまり

図書館は読書や調べものなどをするところです。  
本はラベルの3ケタの番号順に並べてあります。

1 開館時間・・・昼放課

2 休館日・・・学校休業日・行事のある日

3 館外貸し出しの手順

① 借りたい本を書架から取り出します。

② 受付の図書委員に自分のクラス・氏名を言って借りたい本を渡します。

③ 図書委員がパソコン処理を行います。以上で貸し出し完了です。

※ 禁帯出のラベルが付いた本は、貸し出しできません。

4 返却の手順

① 受付の図書委員に借りた本を渡します。

② 図書委員がパソコン処理を行います。

③ 本を元の場所に戻します。以上で返却完了です。

5 貸出期間と冊数・・・2週間以内2冊

※ 返却した人が続けて同じ本を借りたい場合は、再度貸し出しの手順をふめば、借りられます。

## 6 利用の心得

- 図書館に用のない人は、中に入りません。
- 図書館内では静かに過ごします。
- 本は丁寧に扱います。
- 書架から取り出した本はもとの位置に戻します。
- 本を破損したり、紛失したりした場合は、図書委員にすぐに申し出ます。
- 館外に本を持ち出す場合は、必ず貸し出しおよび返却の手順を行います。
- 机、椅子、書架などを大切に扱います。
- 図書館内では、図書委員の指示に従います。
- 授業時に利用するときは、学級担任・教科担任の指示に従います。



## ～ タブレット端末活用のルール ～

学校から貸し出すタブレット端末は新しい「文房具」「教材」です。これからの時代を生きる皆さんにとって、必要不可欠な情報活用能力を育成することを目的とします。正しく使えば、皆さんの学校生活、学習活動を大きく助け、豊かな学びの機会を与えてくれるものです。何のために使うのかという目的を意識し、積極的に活用していきましょう。

### 1 タブレットを使う目的

- ・ 学校で貸し出すタブレットは、**学校生活**、学習活動のために使うことが目的です。

### 2 使用する場面

- ・ **学校生活では、目的をよく考えて使います。**授業中は、先生の指示に沿って使います。
- ・ なくしたり、落としてこわしたり、水にぬらしたりしないように十分に気を付けます。
- ・ 持ったまま走ったり、地面に置いたりしません。
- ・ 水をかけたり濡れた手で扱ったりしません。湿気の多いところでは使いません。
- ・ 日光が直接当たるところには置きません。
- ・ タブレットの画面は指または専用のタッチペンで触れる、またはキーボードを使うようにします。鉛筆やペンで触れたり、落書きをしたり、磁石を近づけたりなどはしません。

### 3 保管

- ・ 各自タブレットの袋に入れて、ロッカーの中か机に掛けて保管します。

### 4 健康のために

- ・ タブレットを使用するときは、正しい姿勢で、画面に近づきすぎないように気を付けます。
- ・ 30分に一度は遠くの景色を見るなど、ときどき目を休ませます。

### 5 安全な使い方

- ・ 学習に関係ないウェブサイトにはアクセスしません。インターネット接続記録が残りますので、注意してください。
- ・ インターネットを使っていて、もし怪しいサイトに入ってしまったときはすぐに画面をとじ、先生に知らせます。



## 6 個人情報等

- ・ アカウント情報（ID やパスワード）を他人に教えません。
- ・ 自分や他人の個人情報はインターネット上に絶対に上げません。
- ・ 相手を傷つけたり、いやな思いをさせたりすることを絶対に書き込みません。

## 7 カメラでの撮影

- ・ 先生が許可した時以外は、カメラを使いません。
- ・ カメラで誰かを撮影したり、人の家や持ち物などを撮影したりするときは勝手にとらず、必ず撮影する相手の許可をもらいます。

## 8 データの保存

- ・ 授業で使用したデータ（写真や動画を含めて）は、先生が許可したものだけ保存します。

## 9 設定の変更

- ・ 使いやすく設定することは構いませんが、いつでも元に戻せるようにします。
- ・ タブレットには、今入っているもの以外のアプリケーションを入れません。また、今入っているアプリケーションを勝手に削除しないようにします。

## 10 不具合や故障

- ・ 学校で、タブレット本体やアプリケーション、インターネットが使えなくなって、再起動をしても元に戻らないときは、すぐに先生に知らせます。

## 11 その他

- ・ 「タブレット活用のルール」が守れないときは、タブレットを使うことができなくなります。
- ・ 故意によりタブレットを破損した場合や、設定変更を行ったことで不具合を生じた場合、状況によっては使用者に修理費の全額もしくは一部を負担してもらうこともあります。
- ・ タブレットは卒業時に返却します。次に使う人がいることを考えて大切に扱ってください。
- ・ 年度途中でもルールの変更や追加はあります。その際はタブレットの使用目的を第一に考えます。生徒のみなさんにもぜひタブレットの使い方について考えてほしいと思います。

